

**第1分科会 第2会場**  
**「地域に広がる憲法9条・**  
**平和を守るとりくみ」**

**岡山国際交流センター 3F 研修室**

演題番号 1-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	まいづる協立診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イナツキ ヌツカ 稲次 豊	舞鶴健康友の会 事務局長	第1分科会

発表テーマ
診療所30周年記念事業として、憲法九条石碑を共に建立したとりくみ

内容（発言要旨）

2022年10月に、まいづる協立診療所は開設30周年を迎えた。診療所からは、30周年記念事業をとりくみにあたっては「かつてない憲法の危機という認識のもと、平和憲法を守り抜くことを今期最大の課題とし、組織をあげて全力でとりくむ」との全日本民医連方針に沿った内容にしたい。一つは「憲法九条の碑を建てる」こと、二つ目には「松元ヒロさんのライブ」を行いたいとの提案であった。舞鶴健康友の会では、三役会議、世話人会（役員会）で特に異議はなく、共に成功させる立場でとりくむことを確認。2022年6月に開催した定期総会でも確認され、さっそく寄付金集めにとりくんだ。寄付金は7～10月までで目標とした50万円を超え、最終的には134人から62万円のご協力をいただいた。11月23日にまだコロナ禍であったが、「松元ヒロソロライブ」を150人の参加で成功させ、11月29日には九条石碑のお披露目を行うことができた。九条石碑の建立は地元新聞に写真付きで記事にいただいた。そして、全日本民医連70周年記念事業の一つにもなり全国に広がりつつある。

所属している組織の概要	
活動地域は京都府舞鶴市。活動地域の人口は約76,000人。所属する共同組織の人数は約1,000人。舞鶴市には日本海側唯一の海上自衛隊の基地があり、近年その強化が図られている。	
TEL 0773-76-7883	メール maishin@mocha.ocn.ne.jp

演題番号 1-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アオキ ヒロト 青木 弘人	玉島協同病院 事務長	第1分科会

発表テーマ
日本国憲法第九条の碑建立に向けた取り組み

内容（発言要旨）

2023年に倉敷医療生活協同組合は創立70周年を迎え、記念行事として玉島・浅口ブロックの組合員とともに、実行員会を立ち上げ、病院敷地内に日本国憲法第九条の碑を建立することにした。石碑設置に係る費用150万円を碑の建立に賛同いただける方に、1口500円を上限口数を設けず、組合員のみならず、幅広くより多くの方に呼びかけ、現在取り組みを進めている最中です。4月末時点で120万円を超える賛同金が集まっています。2月に基礎工事を行い、全日本民医連の九条の碑助成金も申請しています。5月中旬には石碑が仕上がり設置工事を行い、6月2日（日）に除幕式を予定しています。昨今の世界情勢や国内の戦争をする国づくりへの動きに対し、恒久平和を謳った九条の碑を建立し、地域の平和活動の拠点として活用していく予定です。集会当日には建立後の取り組みも含め、報告したいと考えています。

所属している組織の概要	
岡山県倉敷市に立地するケアミックスの108床の病院。2014年12月に現在の場所に移転し、透析医療も開始。	
TEL 086-523-1234	メール jimutyo@tamakyo.com

演題番号 1-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
熊本	くすみず病院附属くすのきクリニック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ワタナベ タカヒロ 渡邊 孝宏	北部健康友の会事務局	第1分科会

発表テーマ
くすのき憲法九条記念碑建立実行委員会 記念碑建立の取り組み

内容（発言要旨）

民医連新聞に京都まいつる協立診療所の記事が掲載され、全日本民医連より70周年記念事業の取り組みの呼びかけがなされた昨年5月からくすのきクリニック・くすの木薬局の職員、北部健康友の会運営委員で構成される「くすのき憲法九条建立実行委員会」で取り組み、今年3月27日くすのきクリニックの花壇に「憲法九条記念碑」が完成しました。4月17日の完成式では、社会医療法人芳和会の積理事長、北部健康友の会宮川会長、新旧院長の挨拶を頂き、この世の中、この地域を平和にしたいという皆さんの願いが一つになったような雰囲気の中、松本久先生作詞・作曲「Peace 平和を編む」をオカリナサークル演奏とともに合唱しました。昨年秋より寄付を募り、横幅120cm高さ125cm、約70万円の記念碑を建立することができました。くまもと九条の会の方を含む友の会関係の方のべ69名と職員のべ26名の方に寄付のご協力をいただき、記念碑建立を実現することができました。

所属している組織の概要	
活動地域は、熊本県熊本市。活動地域の人口は約73万人。北部健康友の会の人数は約2,000人。	
TEL 096-339-0187	メール kusu.jimutyou@kusunokclinic.or.jp

演題番号 1-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	松江保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ カサヒ 井上 薫	まちづくり委員会(理事)	第1分科会

発表テーマ
平和のバトンをつなぐ

内容（発言要旨）

松江保健生協は4つの他団体と共同で実行委員会を構成し、平和を守る取り組みとして「戦争体験を語り継ぐ集い」を毎年開催しています。この集いは1988年の開催を第1回として今年の12月で36回目の開催になります。再び戦争を起こさないために、戦争体験とその教訓を正しく真実として語り継ぐことを目的として開催してきました。戦争に巻き込まれた方々の体験談を朗読劇やディスカッションなどを通じて広く伝える活動をしてきました。ウクライナやパレスチナなどで戦闘が激化し、平和活動の継承が喫緊とされている現在、新しい世代へ平和のバトンをつないでいくことの大切さを伝えていきます。本日は昨年行われた「第35回戦争体験を語り継ぐ集い」について主にお伝えします。

所属している組織の概要	
活動地域：鳥根県松江市、活動地域の人口：約203,000人、所属する共同組織の人数：32683人（3月末現在）	
TEL 0852-27-3774	メール sosiki@aioros.ocn.ne.jp

演題番号 1-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東京保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハタノミチコ 羽田野美知子	学園通り支部 副支部長 柿の木ハウス代表	第1分科会

発表テーマ
戦争体験を語りつぐつどい ～19年間の歩み～

内容（発言要旨）

学園通り支部では、2005年支部発足以来、戦争体験を語る会を毎年開催し、今年で20年となる。きっかけは、ささやかな戦争体験を持つ組合員の“戦争は二度とごめん”という思いであったが、地域で健康に住み続ける為には“平和あってこそ”の理念で継続してきた。戦争を知らない若い世代にも伝えたいと願ってきた。

第1回18名の参加で始まった集いは、第15回180名、第18回142名と大きく発展してきた。他支部や他団体にも呼びかけ、当日参加できない人や子ども達にも事前の取り組みでタペストリー作成に参加してもらった。地元に住み、活躍されている有名人のパワーを十分に活かさせてもらい、ちばてつやさん、高畑勲さん、96歳になられた暉峻淑子さんらをお迎えし、あふれる感動を共有してきた。コロナ禍で開催できなかった年は、支部だよりへの投稿があり亡くなられたパートナーへの短歌を紹介してくれた。コロナ禍後の2年間は「平和と音楽のつどい」として開催し、音楽の持つ力で、より深い一体感を感じられる場になっている。

“戦争は二度と繰り返させてはならない”と参加者一同の強い思いを共有出来る場となっている。毎年確実に取り組み、成功体験を共有することが継続のエネルギーになっている。20年となる今年は“中国残留虎児”の方のお話を聞こうと準備を進めている。若い層への参加を呼びかけたい。

所属している組織の概要	
東京保健生活協同組合の概要(2024年3月31日時点) 組合員数：45,470人 出資金総額：19億円 協議会数：6（文京区・練馬区・豊島区・新宿区・台東区・中央区） 班会数：156班 開催数：3,346回	
TEL 090-9205-3051	メール hamichiko2005.10.15@gmail.com

演題番号 1-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	上京健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ユキマツ 行松 ミヅコ 美津子	上京健康友の会 常任役員	第1分科会

発表テーマ
「戦争では無く平和の準備を！」私たちの取り組み

内容（発言要旨）

上京健康友の会は結成46年、西陣のど真ん中に位置しています。コロナ禍で活動内容も大きく制限されていますが、この間の重点課題として取り組んでいる平和活動を報告したいと思います。一つ目は、ロシアがウクライナ侵攻を開始した2022年の2月から取り組んでいる、戦争反対のアピール行動です。毎月定例日に、診療所前でマイク宣伝や「軍拡か社会保障か」のシール投票や署名活動もあわせておこなっています。2つ目は、8月の平和の七夕まつりです。平和の波行動として、広島・長崎の原爆投下パネル展示、平和学習会、平和の鐘つき、笹に平和のメッセージの七夕飾りも地域の人々と実行委員会形式で企画しています。3つ目は「西陣空襲の地を訪ねて」と題して西陣の町家・古武宅での学習会と地域ウォッチングです。この間の取り組みを通じて、私たちは改めて、憲法9条を生かした平和を守ることの大切さを実感しています。今回、具体的な取り組みを通して平和を守るとはどういうことなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

所属している組織の概要	
京都府京都市上京区。活動地域の人口は、上京区8万3千人・北区11万5千人合わせて、約20万人。所属する共同組織の人数は約4千600人。	
TEL 075-432-1411	メール soshiki01@kamigyohp.org

演題番号 1-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	津山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コジマ カズノリ 児島 和則	理事 社保委員	第1分科会

発表テーマ
38年間続けている自治体と市民団体が共同で取り組む市民平和祭

内容（発言要旨）

◎津山市では毎年8月に市と市民団体が共同で市民平和祭を行っています。

◎実行委員会の構成は市民団体側は、被爆者の会・連合系傘下の労組・地域原水協所属の団体。市側は総務課と教育委員会から1人ずつ実行委員が参加します。5月から10月まで月1回の会議で準備します。

◎活動内容は、パネル展、子供向け映画会、親子平和バスツアー、FM放送で高校生の番組で被爆二世の方との対談をしています。

初日では、オープニングセレモニーが市役所ホールで行われ、市長・教育長・議会議長が参加。終了後、市長室で実行委員会との要望・懇談会があります。

◎費用70万円は市の補助金です。宣伝は市の広報、FM放送での宣伝、市内の小中学校の全生徒にチラシが配られます。

◎平和祭のきっかけは、1985年の「非核兵器平和都市宣言」の制定で、その後ほぼ毎年開催されています。

◎今後の課題としては実行委員会の高齢化です。特に柱となる被爆者の会や被爆二世の会、一部の市民団体の高齢化があります。

なお、高校生のFM番組での参加は2年前から始まりました。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山県の県北部、津山市等3市7町村 人口 約207,000人 共同組織 4,800人	
TEL 080-5757-6181	メール k_kojima417@yahoo.co.jp

演題番号 1-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島医療生協 平和・まちづくり委員会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サカモト タカシ 坂本 貴志		第1分科会

発表テーマ
「平和夏のつどい」で被爆ピアノを通してヒロシマを考える

内容（発言要旨）

広島医療生協では、毎年6月に平和夏のつどい、12月に平和冬のつどいを開催し、地域組合員と職員に平和について考えてもらっている。

2024年の平和夏のつどいでは、矢川ピアノ工房さんに協力いただき、医療生協内のホールで被爆ピアノの演奏会を実施した。被爆ピアノとは、原爆投下時1945年8月6日広島、8月9日長崎で爆心地より約3km以内で原爆の爆風、熱線、放射能等の被害を受けたピアノの事をいう。今回は、被爆ピアノ1台を医療生協内のホールに搬入し、第一部として法人内の保育園児を対象に被爆ピアノとふれあう時間を設けた。また、第二部として、地域組合員、職員を対象に矢川ピアノ工房さんの活動紹介、被爆ピアノを使用した絵本の朗読、演奏会、平和を願う歌の合唱などを行った。

普段、あまりふれあうことの無い被爆ピアノを通して、園児、地域組合員、職員にとっては、改めて戦争、原爆の悲惨さ、平和の尊さを考える貴重な時間となった。一方で、依然として岸田首相は平和憲法改悪の意欲を示しており、広島医療生協としては平和憲法を守り、広く平和の尊さを訴える活動を続けていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、広島県広島市安佐南区・安佐北区、東広島、県北地域。所属する共同組織の人数は約4万1千人。	
TEL 082-879-8124	メール kenmati@hiroshimairyo.or.jp

演題番号 1-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハラダ セイイチロウ 原田 清一郎	秩父地区 まちづくり コーディネーター	第1分科会

<b>発表テーマ</b>
社会保障問題に触れ、若い世代の政治参加を広げる憲法集会

内容（発言要旨）

所沢市内では市内の団体が集い、「憲法集会」を実施していた。しかし例年若い世代の参加が少ない状態であった。

そこで、2024年度は若い世代・働く世代の参加を広げるため市内の各労働組合へ声がかかった。

その中に、以前より自治体キャラバンなどを通じて地域社保協の会議に積極的に参加していた私も参加の依頼が来た。

6月の開催に向け2月より例会に参加し、「若い世代・働く世代の声を聞き地域で考える」をテーマに各労働組合へ参加を呼びかけてきた内容と実際の若い世代の参加などについて発表する。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は埼玉県全域で組合員は約24万人。担当地域は埼玉県西部部の所沢市（人口34万人強）で組合員約12,000人。	
TEL 070-2154-7359	メール s-harada@mcp-saitama.or.jp